

学校評価についてお知らせします。

▶教育委員会平成30年度学校評価

学校評価の実施手法には、『自己評価（教職員）』『学校関係者評価（保護者・地域住民など）』『第三者評価（外部専門家など）』の3つがあります。今回は、昨年度に各学校が行った『学校自己評価』結果について学校別にお知らせします。

【評価基準】 A＝達成できた（85%以上） B＝だいたい達成できた（60～84%）
C＝達成状況が不十分（40～59%） D＝達成できなかった（39%以下）

1 黒坂小学校

＜学校教育目標＞ 「ふるさとを愛し、たくましく生きる力をもつ子どもの育成」

＜重点目標＞ 学力向上の推進 / 豊かな体験活動の充実 / かかわり合いを通じた人権教育・特別支援教育・心の教育の充実 / 健康教育の推進 / 家庭・地域との連携 / 家庭学習の推進

評価項目	具体項目	自己評価
学力の向上	協働的・主体的な学びの推進	A
	学び合いのスキルの向上	B
体験活動	豊かな体験活動・交流活動の充実	A
人権教育・特別支援教育	人権教育・特別支援教育の充実	B
健康教育	体験学習や業間体育の充実	B
家庭・地域の連携	基本的な生活習慣の定着	B
	家庭学習の推進	B

2 根雨小学校

＜学校教育目標＞ 「心豊かに たくましく羽ばたく 日野の子の育成

～主体的・対話的で深い学びを引き起こすための協調的な学びとそれが活きる集団づくり～

＜重点目標＞
・ 凡事徹底 … 「あいさつ・返事・履き物そろえ」がきちんとしてできている
・ まなび … 学習規律を身に付け、意欲的に学習に取り組んでいる
・ なかま … 友だちのよいところを見つけ、協力して物事に取り組んでいる
・ あそび … 休憩時間には、元気に遊んでいる

評価項目	具体項目	自己評価
凡事徹底	【児童】「あいさつ・返事・履き物そろえ」大作戦	B
	【教職員】児童を玄関や教室で温かく迎える	
まなび	【児童】「ねうっ子のまなび」大作戦	B
	【教職員】主体的・対話的で深い学びへの授業改善	B

評価項目	具体項目	自己評価
なかま	【児童】「お楽しみ集会」大作戦	B
	【教職員】自発的・自治的な学級・学校づくり	B
あそび	【児童】「パワーアップタイム」大作戦	B
	【教職員】体育指導の充実と遊びの環境づくり	A

3 日野中学校

＜学校教育目標＞ 「進んで物事に取り組み、お互いの人格を尊重し合い、心身ともに健康で、感性豊かな生徒の育成を図る」

＜重点目標＞
 学力向上（進路保障）
 心力向上（心の教育の充実）
 体力向上
 保小中高連携の推進



評価項目	具体項目	自己評価
学力向上	授業改善（「とっとりの授業改革10の視点」を活かした授業の質の向上）	A
	落ち着いて学べる環境づくり（意欲を引き出す学びの集団、人間関係づくり）	A
	ICT教育の推進 ※ICT（情報通信技術）…パソコンやスマートフォンなどさまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称	B
	家庭学習の定着と内容の充実	B
心力向上	思いやりの心の育成（話し合い活動を通して仲間づくりの推進）	B
	地域の人との交流を通し、郷土愛の育成	A
	凡事徹底の実践（あいさつ、返事、履き物そろえ、姿勢など）	A
	特別支援教育の推進	B
体力向上	基本的な生活習慣（「早寝・早起き・朝ごはん」の定着と食育の推進）	A
	基礎体力の向上、持久力・忍耐力の育成	A
	部活動の充実	B
保小中高連携の推進	小中交流授業の推進	B
	小学生、高校生との交流（ほこすぎ教室などの充実）	A
	9年間を見通した授業	B